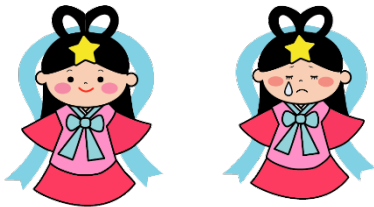
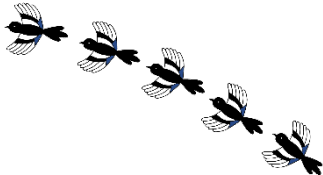
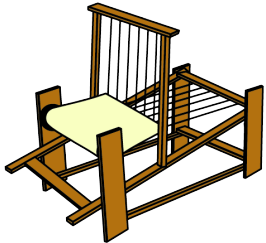
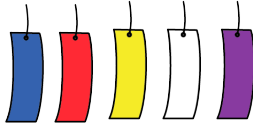
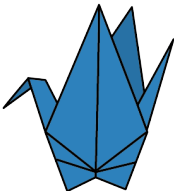
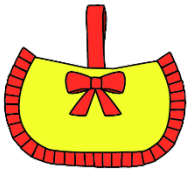
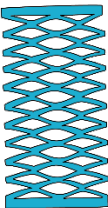
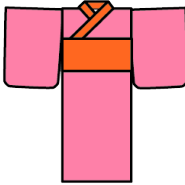


パネルシアター 「七夕」

◎登場人物（部品表）

彦星	織姫	神様	天の川	カササギ
				
機織り機	牛	笹の葉	短冊	千羽鶴
				
巾着	吹き流し	くずかご	網飾り	紙衣
				

パネルシアター 「七夕」

～シナリオ～

☆初めての方でも演じやすいように作成しております。慣れたらアレンジしてみましょう。

☆お話と七夕飾りの由来がありますが子どもたちの年齢に合わせてアレンジしましょう。

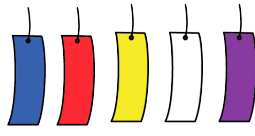
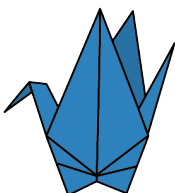
☆ただこちらが話すだけでなく「みんなはどんなお願い事する～？」など聞いたり「短冊の赤色はどんな意味があるでしょう」などクイズ形式にしてみたり子どもたちにも発言の場を与えましょう。

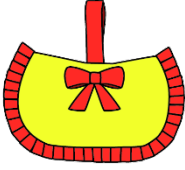
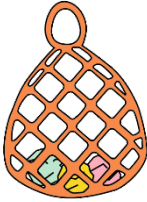
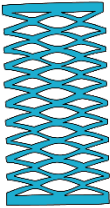
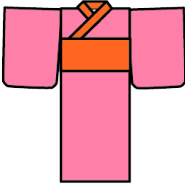
お話

	写真	セリフ (○) 動かし方 (★)
1		○7月7日は七夕です。七夕は織姫と彦星が1年に1回会える日なんだって。 天の神様とその娘織姫が暮らしていました。 ★神様と織姫を出す ○織姫は着物を織る機織りと呼ばれる仕事をしておりとっても働き者でした。 ★機織り機を出す
		○「機織りは楽しいけど私には友達も恋人もいない、一人ぼっちで寂しいわ。」 ★泣いている織姫と入れ替える ○そんな織姫のために神様は結婚相手を探しに行くことにしました。
2		○神様は、牛飼いの彦星という男性と出会いました。 ★彦星と牛出す ○「そこの牛飼いの青年。ワシの娘、織姫に会ってはくれないかね？いつも一人で寂しがっているんじゃ。」 『これはこれは天の神様！ぜひ、織姫様とお会いしましょう。』
3		○そして神様の誘いを受けた彦星は織姫と会うことになりました。 ★笑っている織姫と入れ替える ○「僕は彦星、牛飼いをしているんだ。君の名前は？」 『私は織姫。機織りをしているの。』 やがて2人は恋に落ち結婚することになりました。 「織姫、彦星。結婚おめでとう。これからも一生懸命、仕事を頑張るのじゃぞ！」

4		○しかし結婚をしたら仕事もせずに2人は遊んでばかり。 そんな2人を見て怒った神様は織姫と彦星の間に天の川を作って 離ればなれにさせました。いつも一緒だった二人は悲しみにくれ泣 き続けました。 ★天の川を出して泣いている織姫・彦星と入れ替える ○それを見た神様は「前のようにまじめに働いたら7月7日だけ会 わせてあげよう。」と、会うことを許しました。 『ありがとう神様。お仕事もきちんと頑張ります!』 ★笑っている織姫・彦星と入れ替える
5		○7月7日になるとカササギが現れ、天の川の架け橋となりました。 ★カササギを出す ○そのお陰で織姫と彦星は1年に1度だけですが会うことができ ましたとさ。 おしまい

七夕飾りの意味

1		「七夕の時にみんな笹の葉にお願いごとや折り紙で作って飾るよ ね。七夕飾りには1つ1つ意味があるんだよ。」
2	五色の短冊 	元々5色のいろが使われていて自然にある木、火、土、金、水を表 している。。 青は木、赤は火、黄色が土、白は金、紫は水
3	千羽鶴 	お見舞いの時によく飾られるが七夕では『長寿祈願』（ながいきし ますように）として飾られる。

4	巾着 	「金運アップ」や「無駄遣い防止」など、お金に関する願いを込めて飾られる七夕飾りです。 より金運を高めたい場合には、黄色や白色の紙を使って作った巾着を飾るとよいとされています。
5	吹き流し 	5色の糸を表している。織姫にちなんで裁縫が上達するように願います。
6	くずかご 	七夕飾りを作る際に出た紙くずをかごに入れて飾ることで、「物を粗末にしないように」といった気持ちを育む意味があるようです。 また、「整理整頓が上手になりますように」といった願いを込めることもできます
7	網飾り 	網漁師が漁に使う網を表しており、「豊作・大漁」「食べるものに困らないように」といった願いを込めて飾られると言われています。 また、網が魚をすくって引き寄せることから「幸せを引き寄せる」といった意味もあるようです。
8	紙衣 	「裁縫の上達」や「着る服に困らないように」といった願いが込められています。 また、人形にして飾れば厄除けや身代わりの意味もあるようです。

